

施工事例

プラットホーム待避ブロック



製品/工法工事概要

駅のプラットホームではたびたび線路内への落下による事故が起きています。

名鉄名古屋本線の左京山駅を新しくする際に万が一線路内へ落下することがあっても重大事故を防げるようにプラットホーム下に空間を作る待避ブロックが採用されました。

待避空間確保のため、新しく駅を作る場合の採用が多くなっています。

サイズ/規模

H=1350

施工場所

名古屋市緑区

発注者

名古屋鉄道?

